

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 年 月 日

事業所名 運動療育スクールiump 宇部校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員を厳守しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		個別指導にも対応できるように人員を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		フラットな環境にしています。また、資格支援を用いてわかりやすい構造にしています。	今後も必要に応じて対策していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		事業所内外、送迎車の点検・清掃・消毒を毎日行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		学期ごとの事業所・個人目標を設定し、振り返りを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果に基づいて話し合い、今後の支援に活かせるようにしています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		掲示・配布とホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月、社内研修を実施しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者のニーズや課題を話し合い、個々に応じた計画書を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシート及び運動機能指標に合わせ、評価を行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに示されている項目から、具体的な支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援が行えるよう、その都度確認をしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援前に話し合いの時間を設けています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々の特性に配慮しながら、楽しくからだを動かせるようなメニューを立案しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		特性やニーズに合わせた個別指導と社会性を育むメニューを組み合わせで作成しています。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		始業時と支援開始前にミーティングを行い、支援内容や役割の確認をしています。		

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングの実施、記録作成等で情報共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		デジタル媒体で記録し、改善策を話し合っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1度、個別支援計画書を更新しています。	6ヶ月以内です、子どもの状況や必要に応じて見直しています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	必要に応じて連携しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもの支援を行っておりません。	今後必要となった場合は体制を整えていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもの支援を行っておりません。	今後必要となった場合は体制を整えていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相談支援相談員を通じ、必要に応じて会議を行うなど情報共有を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相談支援相談員を通じ、必要に応じて会議を行うなど情報共有を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		会議や研修等に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		ご利用時間が限られているため、他所との交流は現在行っておりませんが、ご希望があれば検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	ブロック会議や研修に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用時や面談などで話し合い、現状や今後の支援について共有できるように努めています。	
保護者への説明責任	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている		○		専門性を高めていけるよう、研修の機会を設けていきたいと思います。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援ガイドラインに示される項目から、具体的な支援内容を設定しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		受けた相談は記録し管理者に報告、その都度対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		感染状況なども考慮しながら検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		受けた相談や申入れを記録し管理者に報告、その都度迅速に対応しています。	

寺	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		情報発信の方法等も含め、今後検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報ガイドラインに基づき、管理しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		なるべく視覚的に伝えていきます。保護者とは、電話やメールなど連絡をとりやすい方法で伝達しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染状況なども考慮しながら検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し、事業所内に掲示しています。定期的に社内研修、訓練を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		平日に定期的に避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	契約時に確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミーティングの実施、記録作成等で情報共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部研修に参加し、伝達研修を行っています。定期的に社内研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	契約時に説明しています。	